

研究会活動報告

保育研究会：保育のたまたま箱「ピコロ」

私たち保育のたまたま箱「ピコロ」は、今年度新しく誕生したばかりの研究会です。

幼稚園や保育園、認定こども園などの保育の現場で、実際に役に立つ保育者の技術や教材の知識が身につくよう楽しく練習しています。

パネルシアターを中心に、エプロンシアター・絵本や紙芝居・手遊び歌など子ども達を惹きつける児童文化財が披露できるように頑張っています。

1年目の研究会なので、現在1年生7名で活動しています。昨年11月に大学で行われた「わくわくフェスティバル」は、初めての出演で緊張しましたが、練習したことを子どもたちの前で披露することができました。

今後は、みんなで力を合わせてパネルシアターのレパートリーを増やし、幼稚園や保育園にも訪問しながら、一人でも演じることができる技術を身に付けていきたいと思います。

わくわくフェスティバルを終えて

初等教育科1年 松崎 智歩

先輩がいない中、私たちは何をするかなどを1から話し合ってきました。わくわくフェスティバルへの出演も決まり、パネルシアターの練習を始めました。パネルに貼る絵を作るところから始め、色塗りもして完成しました。そして、いざ動かす練習をしてみると、歌は覚えられないし、パネルもどうやって動かしたらよいか全然わかりませんでした。それで、パネルの動かし方や歌を練習しながら、先生や先輩に聞くことで覚えることができました。

最初友だちと2人で演じてみると、声が小さく恥ずかしい気持ちが少しありました。しかし、人前に入るし声も小さかったらダメなので、恥ずかしい気持ちを捨てて、全力で練習に取り組

みました。先生から「声をもう少し出して、パネルの動きも工夫した方が良い。」と教えてもらい、とにかく練習を重ねました。歌を歌う時も、ずっと立ちっぱなしではなく、曲に合わせて少し体を動かして横に揺れたりするアドバイスをもらい、より良いものを作ろうと思いました。

わくわくフェスティバルの本番も、間違えないうか緊張ばかりしていましたが、いざ本番になると、子どもたちや先生方、クラスの友だちが声をかけてくれたおかげで、緊張もほぐれ楽しくできました。終わった後は先生方からたくさん褒めてもらい、「良かった！」などと言ってもらえたので、練習した甲斐があって良かったなと思いました。

自分は、人前に出て何かすることが苦手なので、少しでも勇気が出たかなと思います。もっともっとたくさんことができ、たくさんのかんことを身につけて、いろんなことに挑戦していこ

うと思います。



1 から創りあげたピコロ

初等教育科1年 南 梨世

私は、この研究会の部長をしています。ピコロは今年できたばかりの研究会で先輩もおらず、1から自分たちで創りあげるので苦労もたくさんで、時には仲間とぶつかりあうこともありました。より良いものを創るために、もっと内容が充実することを目指し、毎回の活動に全身全霊で取り組んでいます。

部長として、みんなの意見を最大限に取り入れ、まとめ、自分たちの納得いく作品ができるよう、話を進めたり、自らが動いたりしました。

ピコロに入った理由は、今年できたばかりの研究会であるため、自分たちの手で1から創りあげることができるのはもちろん、何より様々なイベントや園への訪問をすることで、子どもと触れ合い、自分たちが創った作品を届けられることです。子どもたちから多くの笑顔をもらい、その一つ一つの経験が自分の糧になると思ったからです。そのためには、これからも一つ一つのことを自分の力にし、子どもたちの笑顔を引き出すことのできる保育者になれるよう頑張ります。

また、このピコロが明るく楽しく1番素敵で魅力のある研究会になるよう、部長として盛り上げていこうと思います！

後輩もたくさん入れるぞーっ！（笑）

日々成長していくピコロは見ものですよ！（笑）



1 年間の活動を通して

初等教育科1年 平岡 若菜

私たちの研究会は今年新設されました。部員は全員1年生です。

一緒に活動する先輩がいないので、最初は何をすればいいのか全然わかりませんでした。ですが、顧問の先生や卒業生の方に指導していただき、11月のわくわくフェスティバルでは、パネルシアターを成功させ、たくさんの子どもの笑顔を見ることができました。

部員全員が同級生のため、お互いにアドバイスや意見が言いやすいです。

今は幼稚園訪問に向けて、練習を進めています。活動をよりよいものにし、子どもたちの笑顔がたくさん見ることができるよう、練習を頑張っていきたいです。





わくわくフェスティバルを経験して

初等教育科1年 向畑 結衣

私は、研究会で初めてパネルシアターを演じました。パネルシアターは、歌いながらパネルを動かしたり貼っていったりして進めていきます。1人何役もするので、きれいに貼れなかったり、うまくできないことも多かったけど、子どもたちが楽しんでくれることを想像したら、練習も頑張れました。本番では子どもたちが喜んでくれたので良かったです。

私たちの研究会は先輩がおらず、自分たちだけで1から作っていったので、大変なことが多かったです。しかし、だからこそパネルシアターに愛着をもって取り組めたし、もっとこうしようなどお互い意見を言い合って、本番に子どもたちから喜んでもらえるように、研究会メンバー皆で頑張ってくることができたと思います。

パネルシアターは1つ習得したら、ずっと自

分の技術として持っていけるとと思います。今回演じた2つの作品だけでなく、他にも様々な作品があるので、これからの研究会活動で、もっとレパートリーを増やしていけたらいいなと思います。また、今回のわくわくフェスティバルを経験したので、これからももっといろんな園を訪問したりして自分たちの経験値を上げていきたいと思いました。

今はまだパネルシアターの2作品が中心ですが、今後パネルシアターの種類を増やしていくことはもちろん、研究会メンバー全員で様々なことに挑戦していきたいです。



ピコロの活動

初等教育科1年 藤元恵理子

私はこの研究会は絶対に役に立つと思いつことを決めました。

今までやった活動としては、絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、パネルシアターです。

本格的に取り組んだパネルシアターは、ペーパーシートに絵を書いて切るという1からの作業で始まりました。

11月には、わくわくフェスティバルでパネルシアターをやることになり、歌とパネルの動きを合わせる練習をしました。私はピアノを担当することになり、ピアノとパネルの動きのスピードを合わせる難しさを知りました。

無事に本番も成功し、良い経験になりました。

これからも子どもたちの前で発表する機会があるので頑張りたいです。

